イザ！カエルキャラバン！

MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

2014

+arts

NPO法人プラス･アーツ

家族連れで賑わう新しいカタチの防災のお祭り

子どもたちや若いファミリーを対象に、震災時に必要な「技」や「知恵」を身につけてもらう新しい防災訓練のシステム。阪神・淡路大震災の教訓（被災者の声）を基に、ゲーム感覚で楽しみながら「消火」、「救出」、「救護」などを学べる防災プログラムを開発し、美術家・藤浩志氏が展開するおもちゃの物々交換プログラム「かえっこバザール」のシステムの中にこれらのプログラムを組み込みました。この仕組みを取り入れたことで、これまでなかなか防災訓練に参加しなかった子どもたちや若いファミリー層が積極的に防災訓練に参加するようになりました。

2005 年、阪神淡路大震災 10 周年事業で生まれたこの防災訓練プログラムは、これまで東京、横浜、新潟、静岡、大阪、宮崎など全国 60 ヵ所以上の場所で開催されてきた他、その活動は海を渡り、インドネシアやグァテマラ、エルサルバドル、モンゴルなどでも開催されています。

http://kaerulab.exblog.jp/

おもちゃの交換会「かえっこバザール」 ＋ 楽しくアレンジした防災体験プログラム

↓

イザ！カエルキャラバン！ MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

イザ！カエルキャラバン！の仕組み

おもちゃをもってこよう

いらなくなったおもちゃを「かえっこバンク」にもってくると「カエルポイント」に替えることができます。

すきなおもちゃをゲット

集まったおもちゃは会場にならべられ、カエルポイントでお買いものすることができます。

カエルポイントをためよう

おもちゃをもってきていない子どもも「防災プログラム」を体験することでカエルポイントがもらえます。

オークションに参加しよう

人気の高いおもちゃは「オークション」にかけられ、あつめたポイントで手に入れることができます。

主な開催実績

これまでの 9 年間で 200 回以上開催され、20 万人以上が参加しました。

神戸カエルキャラバン

震災から 10 年目の年に若い親子に震災の記憶や教訓を伝えるためカエルキャラバンを開発。
（パートナー：神戸市／2005 年）

イザ！カエルキャラバン！in 東京

東京都の文化政策事業としてカエルキャラバンを都内で展開し、地域防災活動を支援しています。
（パートナー：東京文化発信プロジェクト室／2009 年～）

in 環境エネルギー館、ガスの科学館

東京ガスの CSR 活動の一環として企業ミュージアム2館で毎年大規模に開催しています。
（パートナー：東京ガス株式会社／2006 年～）

in ジョグジャカルタ

現地の大学や NGO が自立して「楽しく学ぶ防災」をインドネシア各地へ展開しています。
（パートナー：JICA 兵庫、ガジャマジャ大学 他／2008 年～）

in ガスの科学館（2011 年）

阪神・淡路大震災の被災者のヒアリングをもとに考案した防災プログラム　※（　）内は必要スタッフ数

水消火器で的あてゲーム　（6 名）

消火器の使い方を、消火時の心得と合わせてゲーム感覚で楽しく身につけることができます。

ジャッキアップゲーム（2 名）

なまず人形の下敷きになってしまったカエル人形を、ジャッキをつかって救出します。

毛布で担架タイムトライアル　（2 名）

身近に手配できる毛布を利用して、けが人に見立てたカエル人形を搬送します。

紙食器づくり（2 名）

チラシや新聞紙を折って紙食器をつくります。水が不足する避難生活の食事で役立ちます。

持ち出し品なぁに？クイズ（2 名）

災害時に備え各家庭で用意してほしい非常持ち出し品を覚える暗記クイズです。

対決！バケツリレー（5 名～全員）

参加者を2チームに分け、バケツリレーで水を搬送するスピードを競います。

家具転倒防止ワークショップ（2 名）

ミニチュアの家具を用いて家具の耐震グッズの使い方やその効果を紹介します。

防災人形劇「おたま劇場」（2～5 名）

オタマジャクシとカエルの人形劇で小さな子どもにも親しみやすく防災の知識・知恵を伝えます。

水害紙芝居（2 名）

水害に関する知識や正しい避難方法を伝える紙芝居です。

防災カードゲーム「なまずの学校」（2 名）

地震の際発生する様々なトラブルを、手持ちのカードを使って解決するカードゲームです。

防災すごろく「GURAGURA TOWN」(2 名）

買い物をしながら、途中起こる地震トラブルを乗り越えてゴールに向かうすごろくゲームです。

防災カードゲーム「SHUFFLE」（1～3 名）

災害時役立つ知恵や技の手順を、ゲームの流れの中で身に付けることができるゲームです。

※これらのプログラムの中から、規模や予算に応じて実施するプログラムを決定します。

長期的な地域防災活動の活性化に向けて

本番までの間に「イザ！カエルキャラバン！」のプログラムの運営方法をお伝えする「事前研修会」を実施します。本番は、研修会に参加した方々を中心に各プログラムを運営していただきます。

研修会と実践で身につけたノウハウを活かして、次回以降は住民の方々が自主的に「イザ！カエルキャラバン！」を開催することが可能になります（必要があれば、その後も資機材のレンタルなど最小限の支援が可能です）。

事前研修会からイベント本番までの流れ

① 周辺住民を中心にサポートスタッフを募集 （関係者・居住者への声かけ）

↓

② 第1回 事前研修会 （本番の 1～2 ヶ月前 ／ 所要時間：約 2 時間）

研修内容

- イザ！カエルキャラバン！の概要説明
- かえっこバザールの説明と実演
- 防災体験プログラムの紹介
- プログラムの担当割り振り

概要説明の様子

かえっこバザールの実演の様子

次回開催までにすること…	
	□ イザ！カエルキャラバン！の資料の閲覧 （プログラムマニュアル、DVD）
	□ 協力者、協力団体への声掛け
	□ 告知チラシの配布

③ 第2回 事前研修会 （本番の 2 週間～1 ヶ月前 ／ 所要時間：約 2 時間）

研修内容

- 防災体験プログラムの実演
- 担当プログラムごとに分かれて「かえっこバザール」「防災体験プログラム」の練習

防災体験プログラムの実演

資器材の準備方法を実習

本番までにすること…	
	□ 各グループで事前準備（看板、サインづくり）
	□ 必要資器材の手配

④「イザ！カエルキャラバン！」本番 （※プラス・アーツから 2～3 名のスタッフがサポートします）

1. イザ！カエルキャラバン！の概要説明

スライドと映像で「イザ！カエルキャラバン！」の概要について説明します。「イザ！カエルキャラバン」の仕組みや防災体験プログラムについてもわかりやすく紹介します。

2. 実演を交えたかえっこバザールの説明

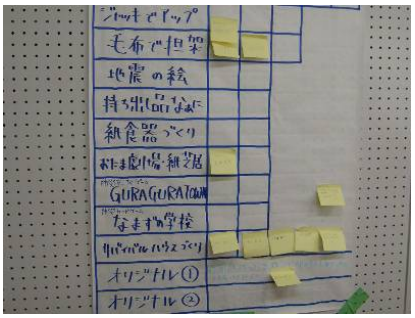
イザ！カエルキャラバン！のシステムのベースとなる、おもちゃの交換会「かえっこバザール」の仕組みについて、スライドで説明した後、実際に使うツールを用いながら実演を行います。

かえっこ「バンク」実演

かえっこ「バンク」役割練習

3. 各プログラムの担当決め

参加者に当日担当するコーナー（防災体験プログラムやかえっこバザールのコーナーの中から選択）を決めてもらいます。



■ 次の研修会までの間に…

・実施方法が詳しく書かれたプログラムマニュアルや DVD を見て確認します。

・当日参加できなかった方や、協力者へ次回研修会の案内をします。

・約 1 カ月前には住民や、近隣へチラシ配布。その他イベントの告知をします。

第 2 回　事前研修会 （本番約 2 週間～1 ヶ月前）

1. 各防災体験プログラムの詳しい説明と実演

実際に使うツールを用いながら、各防災プログラムのデモンストレーションを行います。ここでは子どもたちに特に注意して伝えてほしい防災の「知恵」や「技」の解説などを重点的に行い、オペレーションの仕方についても、あわせて説明します。

持ち出し品なぁに？クイズ

毛布で担架タイムトライアル

2. 各プログラムに分かれての練習

担当コーナーごとに分かれてプログラムの練習を行い、本番では自分たちだけで各コーナーの運営ができるように準備してもらいます。

カエル人形にペットボトルを詰める

カードゲームシャッフル

■ 本番までの間に…

必要に応じてグループ単位や、主体的なメンバーで自主的にミーティングを開き、プログラムの練習、オリジナル防災体験プログラムの開発やツールの作成などを行ってもらいます。絵の得意な方や、大工仕事の得意な方などがいれば、当日の会場案内看板など、演出ツールの作成、会場のレイアウトの想定などができれば理想的です。

本番のタイムスケジュール案

本番の
3～4 時間前

9:00　スタッフ集合

- 朝礼、スタッフの配置確認
- 「のぼり」「看板」などの会場演出物の設置
- かえっこ、プログラムごとの備品、資機材の配布
- かえっこ、各プログラムにわかれて練習

12:00　昼食

運営スタッフ全員で、お弁当を持ちよったり、災害備蓄品の試食、炊出し等で、昼食をとります。

子どもの集中力や体力を配慮し、イベントは2～3 時間が適当

13:00　本番スタート

【例】

『中庭』
・水消火器で的あてゲーム
・毛布で担架タイムトライアル

『エントランス』
・紙食器づくり（炊出し試食）
・持ち出し品なぁに?クイズ

『コミュニティールーム』
・なまずの学校
・おたま劇場
　① 13:00～
　② 14:00～

毛布で担架タイムトライアル

終了の
30 分前

14:30　かえっこオークション

ポイントをためた子どもたちが、待ちに待ったオークション。
メイン会場で開催。

15:00　終了

片付け
解散（16:00）

おつかれさまでした。

開催実績

行政や地域団体などが主体となった開催事例

イザ！カエルキャラバン！in 寺島 （東京都墨田区寺島地域）

●開催団体：一寺言問を防災のまちにする会（任意団体）
2009 年の初回以降、地域団体が中心となり毎年継続して開催されています。地域のお祭りと併せて開催したり、ナイトバザールと題して夜間に開催するなど、地域独自の形でイザ！カエルキャラバン！を開催されています。

イザ！カエルキャラバン！in 輪島（石川県輪島市）

●開催団体：地元市役所、PTA、自主防災組織　他
2011 年より行政と地域団体が中心となり開催されています。2 年目は、以前よりかえっこバザールを開催していた近隣の団体と協力して開催するなど、開催団体同士の連携が行われています。

イザ！カエルキャラバン！in かわらんべ祭り 2012（長野県飯田市）

●開催団体：地元市役所、地元企業　他
2012 年 7 月にお祭りの一環として開催されました。カエル人形ではなく独自に作成した河童人形をプログラムに用いたり、川の水を用いてバケツリレーを行うなど、地域特性を生かしたオリジナル要素が多々見られました。

開催実績

企業の社会貢献活動としての開催事例

イザ！カエルキャラバン！in ガスの科学館

●関係団体：東京ガス株式会社

2007 年より、企業ミュージアムである「ガスの科学館」にて、東京ガスの社会文化活動の「安心・安全な暮らし・街づくり」の活動として開催しています。いずれの年も 1 万人近くの親子が来館し、毎年大変賑わいます。

実施プログラム（一部）

東京ガス防災体操

ガスメーター4 択クイズ

江東区災害情報展示

起震車の体験・展示

サバイバルシェルターづくり

火起こし＆ロープワーク体験

災害用伝言サービス体験

火の役割クイズ

開催実績

様々な防災関連団体と連携した開催事例

イザ！カエル大キャラバン！in HAT 神戸

●関係団体：
JICA 関西（旧 JICA 兵庫）、国際防災研修センター　他

2009 年より毎年、阪神・淡路大震災時の被災地「HAT 神戸」から「防災」を発信することを目的に、関西の防災教育・啓発活動に取り組む団体と連携して開催しています。

連携団体・プログラム（一部）

「神戸市消防局」
ロープワーク講習

「阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター」
暗闇体験

「神戸学院大学　学際教育機構
防災社会貢献ユニット」
非常時持ち出し品クイズ

「兵庫県立舞子高等学校
環境防災科」
高校生による防災クイズ

「神戸市すまいの安心支援センター」
家具の転倒防止体験

「NPO 法人 Co.to.hana」
被災地へのメッセージ集め

「NPO 法人 SEEDSAsia」
室内の危険物クイズ

「白山工業株式会社」
地震体験

開催実績

国際協力機関と連携した開催事例

イザ！カエルキャラバン！in インドネシア

●関係団体：
JICA 関西国際防災研修センター、ガジャマジャ大学　他
　2008 年より、現地機関（大学、NGO 等）と連携し、「イザ！カエルキャラバン！」の普及やローカライズ化、担い手育成の支援を行っています。

イザ！カエルキャラバン！in グァテマラ/エルサルバトル（中米）

●関係団体：
JICA 関西（旧 JICA 兵庫）国際防災研修センター
2010 年より、中米地域へ「イザ！カエルキャラバン！」の普及やローカライズ化、担い手育成の支援を行っています。

イザ！カエルキャラバン！in モンゴル

●関係団体：
アジア防災センター、NEMA（NATIONAL EMERGENCY MANAGEMENT AGENC）
2011 年より、モンゴルで近年地震が頻発している事から、地震防災についての啓発や、「イザ！カエルキャラバン！」の普及支援を行っています。